

授業概要

現代の日本社会には特定の宗教への信仰を持っている人々も、そうでない人々もいますが、その違いにかかわらず、実はとても多くの人々が宗教的なものとかかわっています。その一方、日本では「学校で宗教を学ぶ」ことの重要性があまり認識されていません。この授業では「なぜ宗教を学ぶことが大切なのか」という問題について、みなさん自身が自分の答えを見つけられるよう、いろいろなテーマを講義で扱っていきます。

この授業には、「一神教世界とわたしたち」という副題がついています。一神教とはユダヤ教、キリスト教、イスラームという三つの宗教をさします。一神教世界の長い歴史と豊かな文化に触れることは、現代社会を生きるうえでさまざまな示唆を与えてくれるはずです。また、宗教についての考え方を知るために、宗教学における理論や概念についても紹介します。具体的には、①宗教学の基本的な考え方、②三つの一神教の概要、③現代社会における一神教世界、という三つの主題で構成された講義をおこないます。宗教を学ぶことを通じて、異文化理解や他者とのかかわりについて、ひとりひとりが自分の考えや意見を持つことをめざしていきます。

授業計画

第 1 回	宗教学とはなにか 宗教学という学問の基礎について学ぶ
第 2 回	宗教を分類する 宗教に対する学術的なアプローチを体験的に学ぶ
第 3 回	ユダヤ教① 聖書時代のユダヤ教の誕生からラビ・ユダヤ教の成立までを学ぶ
第 4 回	ユダヤ教② 中世から現代まで続くユダヤ教のさまざまな文化を学ぶ
第 5 回	キリスト教① キリスト教の誕生から中世における西方キリスト教世界の完成までを学ぶ
第 6 回	キリスト教② 近現代におけるキリスト教の「世界宗教」としての展開を学ぶ
第 7 回	イスラーム① イスラームの成立およびイスラームの基本的な考え方について学ぶ
第 8 回	イスラーム② 現代イスラーム世界の多様化と、その中で生じてきた問題について学ぶ
第 9 回	教典 宗教学の教典論を学び、三つの一神教の教典を実際に読む
第 10 回	共同体 一神教世界のさまざまな共同体、および食事の問題について学ぶ
第 11 回	聖地 宗教学における「聖地」の概念と、一神教世界のさまざまな聖地について学ぶ
第 12 回	回心 宗教的な回心体験の事例と理論、および現代の宗教復興について学ぶ
第 13 回	暴力 宗教と暴力というテーマについて、中世と現代の事例を学ぶ
第 14 回	共存 諸宗教の共存を実現するための取り組みについて、歴史・生活・教育の事例から学ぶ
第 15 回	まとめ 宗教的寛容についての古典的作品を読み、その意義について学ぶ
第 16 回	期末試験（筆記）

到達目標

- ・宗教学の基本的な考え方を説明できる。
- ・三つの一神教の概要と歴史を説明できる。
- ・宗教の学びを通じて、現代における異文化や他者とのかかわりについて、自分の意見を表現できる。

履修上の注意

- ・授業全体の構成や評価方法についての説明を初回におこないます。
- ・講義はプリント資料とスライドをもちいておこないますが、話を聞き、スライドを見るだけでは知識は定着しません。かならずノートを取ることを心がけてください。
- ・欠席回の資料を翌週に受け取ることは原則としてできません。講義資料を掲載するウェブサイトを作成しますので、必要な資料はそちらから入手してください。（サイトのアドレスは授業内でお知らせします）

予習・復習

- ・宗教学やユダヤ教・キリスト教・イスラームの文献を授業内で紹介しますので、積極的に読みましょう。
- ・インターネットにもさまざまな情報があります。信頼できる情報を授業で紹介します。

評価方法

コメントシート提出を含む平常点（30%）、数回の小課題（20%）、期末試験（50%）により評価

テキスト

- ・教科書は指定せず、必要なテキストはプリントで授業中に配布する。